allcinema

仮面ライダーＺＯ（1992）

メディア 映画
ジャンル 特撮　ヒーロー
製作国　日本
色彩　Color
時間　48分
初公開日 1993/04/17

【解説】
　仮面ライダー生誕２０周年を飾る劇場用新作、それがこの『仮面ライダーＺＯ』である。
　遺伝子工学者の望月博士は、感情に惑わされる事のない完全生物の創造を研究していた。望月博士はその研究に心を奪われ、遂には自分の助手である麻生勝に人体実験を実行、麻生の遺伝子にバッタの遺伝子を組み込んでしまう。異形の怪物へと改造される麻生。しかし、彼はその人間の魂までは失いはしなかった。ここに、大自然のエネルギーを身につけた正義の戦士、仮面ライダーＺＯが誕生したのだ。
　一方、望月博士は全く新しいタイプの生物、ネオ生命体を創造する。ネオ生命体は感情を持たない完全な生物となる筈であったが、研究途上、自我に目覚めて暴走を開始。望月博士の制御を離れ、自分自身を神と成すべくドラスと呼ばれる戦闘形態ボディを産み出す。今、仮面ライダーＺＯとドラスの壮烈な戦いが始まった！
　本作は、４８分という短い尺の中に激しいアクションと目を見張る特殊効果が濃厚に詰め込まれ、劇場用新作の名に恥じぬ素晴らしい仕上がりとなっている。見所の一つ、ライダー対ドラスの１分４０秒間もの長回しバトルは、まさしく死闘！　クモ女、コウモリ男といった魅力的なクリーチャーもストーリーを盛り上げる。また、劇中で繰り返し流されるオルゴールのメロディは、感情を切り捨てた筈のネオ生命体の心の動揺を非常に効果的に表現し、この作品にアクションだけではない深いテーマを与えている。
　監督を務めたのは、自身もライダーファンである雨宮慶太。本作が初の映画主演となる麻生勝役の土門廣も好演を見せ、静かな変身ポーズの中に、秘められたライダーの怒りを見事に表現している。
　なお本作は、第一回東映・バンダイ提携作品として製作され、第一回「東映スーパーヒーローフェア」（「東映まんがまつり」が特撮作品を排して「東映アニメフェア」と改称するに伴い誕生）のメイン作品として上映された。同時上映は、『五星戦隊ダイレンジャー』『特捜ロボジャンパーソン』。

【クレジット】

監督	雨宮慶太	
アクション監督	金田治	（ジャパンアクションクラブ）
製作	山科誠	
	渡邊亮徳	
企画	村上克司	
	吉川進	
プロデューサー	渡辺繁	
	久保聡	（バンダイビジュアル）
	堀長文	
	角田朝雄	
原作	石ノ森章太郎	
脚本	杉村升	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

キャラクター造型	前沢範		（レインボー造型企画）
キャラクターデザイン	雨宮慶太		
撮影	松村文雄		
クリーチャースーパーバイザー	竹谷隆之		
美術	高橋昭彦		
編集	菅野順吉		
音楽	川村栄二		
特技監督	松本肇		
特殊技術	國米修市		
アクション	岡元次郎		
	横山一敏		
	高岩成二		
	ジャパンアクションクラブ	Japan Action Club	
コンピューターグラフィックス	篠原保		
歌	ＩＮＦＩＸ		「愛が止まらない」
助監督	古庄淳		
出演	土門廣		麻生勝／仮面ライダーＺＯ
	佐々木功		望月博士
	柴田翔平		望月宏
	森永奈緒美		玲子
	犬塚弘		清吉（宏の祖父）
	大葉健二	Kenji Ohba	
	山下優		
	榊原伊織		
声の出演	湯沢真伍		ネオ生命体本体の声

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.